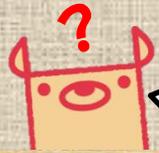


すえまつはいじあと がらんはいち なぞ 末松廃寺跡-伽藍配置の謎

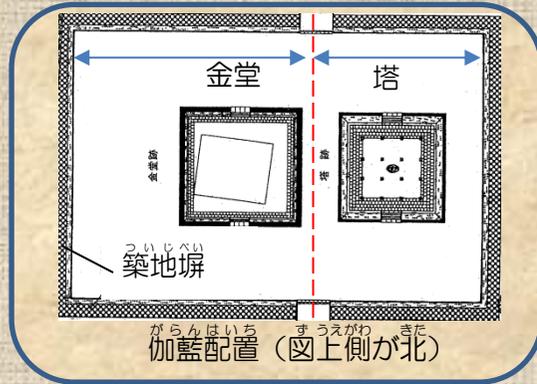


ジオラマを見ると、お寺の建物の配置が左右非対称に見えるね

がらんはいち ほか たてもの 伽藍配置と他の建物について

確かに、お寺の範囲と建物の配置を見ると、建物の配置が中心軸からずれていることに気づきます。

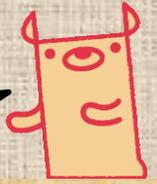
金堂と塔の中央にラインを引くと、青い矢印の幅が東西で大きく異なっています。



ほんとだ！

その他、この時代のお寺にある講堂（各種行事を行う施設）・僧房（お坊さんの居住施設）といった建物が見つからないなど、末松廃寺の全容については未だに不明な部分がたくさんあります。

すえまつはいじあと てら なまえ 末松廃寺跡-お寺の名前



ところで、末松廃寺「跡」ということは、昔は末松廃寺っていう名前のお寺があったの？

「末松廃寺跡」という名前は、極端に言うと「末松という場所には廃れてしまったけど昔お寺がありました」という意味で、実は末松廃寺という名前のお寺があったというわけではありません。



じゃあ本当はどんな名前だったんだろう？

末松廃寺を記録した文字資料は残っていませんので、お寺の名前についてははっきりとしたことは分かりません。

ただ、発掘調査では次のような遺物が出土しています。



土器の美測図

しゅぶつじ か すえき 「朱仏寺」と書かれた須恵器

この土器の年代は平安時代（900年代）につくられたもので、裏面に朱仏寺と書かれています。あくまで可能性の1つですが、末松廃寺の名前の1つの候補です。



わからないことがたくさん…そういえば、去年から末松廃寺跡で発掘調査をしているみたいだけど…？